

令和4年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 松尾 秀明	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所を目指すとともに、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取組を行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>①全体の奉仕者として市民の期待にこたえる職員を育てます。 ②市民みんなが日頃から災害に備え、いざという時に自らの命、家族の命を守ることができるように防災意識の高いまちをつくります。 ③幼児から高齢者まで一人ひとりが交通安全問題を正しく理解し、実際に行動できるよう各年代に応じた交通安全教育と啓発活動を進めます。 ④市の規模に合った中期的な視点での財政運営を行います。 ⑤公共施設の再編を進め、公共施設の総量を計画的に縮減し、将来の負担を軽減します。 ⑥情報技術を活用し、地域生活の利便性向上、市役所内部の業務改善に取り組みます。</p>	所管課 総務課・危機管理課・財政課 契約管財課・DX戦略室			
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		38人	13人	51人	
		一般会計	4,556,286 千円		
		特別会計	千円		
		計	4,556,286 千円		
		(うち人件費)	(412,197 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	市民サービス及び職場環境向上への取組（業務改善）	市政運営における日々の業務の中で、職員が感じている課題や改善点等について、職員自らが率先して業務改善に取り組む環境をつくり、市民サービスの向上、業務の効率化及び職員の資質向上につなげていくため、職員提案制度の構築を行います。	他市事例等の研究を行ったうえで、9月末までに必要な要綱等を整備し、本市に適した制度を構築します。その後、提案募集、審査等を行い、次年度の業務に提案事項が反映できるよう進めていきます。	他市事例等を研究中で、今後業務改善を先進的に行っている市内企業の取り組みを勉強する機会を設けます。より本市に適した制度を構築できるよう検討しています。	市内企業の先進的な取り組み等も参考に研究しています。構築後に制度を有効に運用できるよう、運用体制も含めた制度構築を引き続き検討しています。	
2	防災力の向上	<p>防災意識を高めるため、自治会等に対し、出前講座を開催します。また、人材育成のため、自主防災活動を積極的に支援します。</p> <p>災害時の対応能力向上を図るため、市民・職員を対象に防災訓練を実施します。</p> <p>防災アプリを有効に活用するため、市民に対し周知・啓発を行います。</p> <p>避難行動要支援者の避難を支援するため、支援等関係者と連携し個別避難計画を作成します。</p>	<p>出前講座を20回開催します。</p> <p>防災リーダー研修会を開催します。</p> <p>自主防災組織及び認定自主防災組織を増やします。 自主防災組織 200団体（82.0%） うち組織認定 62団体（R3年度末55団体）</p> <p>南海トラフ地震を想定した総合防災訓練・凶上防災訓練を実施します。</p> <p>防災アプリ登録者数 1万人を目指します。</p> <p>作成方針を決定しモデルケース10事例の作成を目指します。</p>	<p>出前講座 11回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 1回目 7/23 47人</p> <p>187団体（75.7%） うち組織認定 55団体</p> <p>水害凶上防災訓練（5/30 34人） 総合防災訓練（9/4） 参加団体 48団体 参加者 690人</p> <p>登録者 4,064人</p> <p>作成に向け準備中です。</p>	<p>出前講座 19回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 2回目 1/21 64人 防災リーダー研修 12/11 30人</p> <p>同左 同左</p> <p>同左</p> <p>地震凶上防災訓練 実施 1/20 32人</p> <p>登録者 4,454人</p> <p>個別避難計画 作成件数 53件</p>	<p>出前講座 22回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 1回目 7/23 47人 2回目 1/21 64人 防災リーダー研修 12/11 30人</p> <p>同左 同左</p> <p>同左</p> <p>総合防災訓練 9/4 参加団体 48団体 参加者 690人 地震凶上防災訓練 実施 1/20 32人 登録者 4,583人</p> <p>個別避難計画 作成件数 60件</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	交通事故ゼロの推進	交通事故防止を図るため、幼児期の子どもに対して交通ルールを身につける交通安全教育を行います。	保育園・幼稚園・こども園を対象に交通安全教室を開催します。 24回	交通安全教室 11回	交通安全教室 21回	交通安全教室 28回
		交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し、交通安全教室や啓発活動を実施します。	高齢者等を対象に交通安全教室を開催します。 2回 交通安全啓発を実施します。 12回	高齢者交通安全教室 1回（9月は中止） 交通安全啓発 13回	同左 交通安全啓発 19回	同左 同左
		高齢ドライバーのペダル踏み間違いによる交通事故防止や事故時の被害を軽減するため、高齢者に対しペダル踏み間違い急発進等抑制装置（安全運転支援装置）の設置を推進します。	補助金交付件数 10件	補助金交付件数 2件	同左	同左
4	地域防犯の推進	空き家等が放置され、管理不全な状態を防止するため、所有者等に対し啓発・指導を実施します。	啓発・指導件数 20件	啓発・指導件数 13件	啓発・指導件数 36件	啓発・指導件数 41件 7件対応完了
		地域の居住環境の向上を図るため、老朽空き家の所有者等に対し、補助金を交付し除却を推進します。	補助金交付件数 9件	補助金交付件数 1件 （交付決定 6件）	補助金交付件数 8件 （交付決定 10件）	補助金交付 10件 （交付決定 10件） 特定空家認定件数 14件 （うち除却件数 10件）
		子どもの見守り活動を支援するため、地域で活動する団体等に対し防犯カメラの設置を推進します。	補助金交付件数 5件	補助金交付件数 0件	補助金交付件数 0件	補助金交付件数 0件

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	長船支所及び周辺施設整備基本計画に基づく事業の推進	長船3施設（長船町公民館、長船支所、長船分駐所）の耐震対策完了に向け、令和2年度に決定した方針に基づき事業を進めます。	<p>早期の対策を実現させるため、必要な協議・説明を適時行いながら計画的に事業を進めます。</p> <p>主な令和4年度実施予定工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長船支所新築工事完了 ・本庁舎西棟改修工事完了 ・福祉部等・長船支所移転に向けての準備 	<p>長船支所新築工事、本庁舎西棟改修工事共にスケジュールどおり進んでいます。</p> <p>本庁舎については、新しい駐輪場が完成しました。</p> <p>進捗については市ホームページに掲載しています。</p>	<p>長船支所は完成、本庁舎西棟改修工事もスケジュールどおり進み、事務所開設に向け準備を進めています。</p> <p>新事務所の開所予定を、令和5年5月8日（月曜日）とし、周知しています。</p>	<p>長船支所、本庁舎西棟ともに完成し、令和5年5月8日（月曜日）の事務所開所に向け準備を進めています。</p>
6	自治体DXの推進	DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、政府の支援策を活用して高度な専門知識を持つ有識者を引き続き活用し、デジタル技術による地域生活の利便性向上及び市役所内部の業務改善に取り組みます。	<p>瀬戸内市 DX 推進方針に基づき、グループウェアの整備・情報システムの標準化・業務用アプリの開発等、瀬戸内市に必要な情報技術とその導入・運用を総合的に管理し、計画的に推進します。</p> <p>業務のデジタル化による時間・紙・スペース・資源・経費等の無駄の削減に取り組みます。</p>	<p>7月に文書管理システム・電子決裁システムの全庁稼働を実施しました。</p> <p>8月から、テレワーク用PCを各課に配布し、テレワークがしやすい環境づくりをしました。</p> <p>9月から会計事務の電子化について取り組みを始めました。</p>	<p>1月にRevoBrowserを導入しインターネット閲覧の利便性を高めました。</p> <p>本庁会議室のアクセスポイントを設置するための機器を購入しました。</p> <p>デジタル田園都市国家構想によるGIS導入・スマート窓口の検討を行いました。</p>	<p>業務用アプリの開発を行い、使用を開始しました。</p> <p>本庁会議室の無線化を行い、時間・紙等の削減、利便性向上を図りました。</p> <p>「瀬戸内市基盤地図データ整備とGISによるデータ活用事業」・「スマート窓口」について、デジタル田園都市国家構想交付金を申請し、採択されました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	安定的な財政運営の推進	<p>今後も少子高齢化の進展による社会保障費の増加や人口減少による税収の減少が見込まれる中で、歳入・歳出両面において最大限の努力を行い、優先順位付けを的確に行うなどメリハリのある予算を編成することを目指します。</p> <p>市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、引き続き健全な財政運営に努めるとともに、中期的財政見通しの改善を図ることを目指します。</p>	<p>10月までに中期財政計画を策定します。この計画を踏まえた予算編成を行います。</p> <p>令和4年度決算見込目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質公債費比率：18%未満（交付税措置のない起債借入なし） ・財政調整基金残高：33億円程度（標準財政規模の約30%） 	<p>中期財政計画は適正化案まで取りまとめることができ、計画書の策定を進めています。</p>	<p>10月までに中期財政計画を策定し、職員及び議会で説明し、ホームページで公表しました。</p> <p>中期財政計画を踏まえて、令和5年度予算編成を行いました。（交付税措置のない起債借入なし、財政調整基金取崩額7億5千万円）</p>	<p>財政調整基金の令和4年度末残高は、約39.4億円を見込んでいます。</p> <p>実質公債費比率の令和4年度見込は、8.6%（中期財政計画試算）を見込んでいます。</p> <p>約6.1億円の起債の繰上償還を実施し、約25百万円の後年度の利子負担を軽減しました。</p>